

第1章 完全習得学習とは？

story 1 完全習得学習って何？ 10

完全習得学習の定義 14

習熟の時間を設ける 18

どの教科や学年でも実施可能 20

100%の子どもに強要するものではない 22

コラム●学習失敗への期待 23

第2章 授業単元の流れ

story 2 完全習得学習の4ステップ 26

到達目標を考える 28

完全習得学習4ステップ 29

- ①「最初の授業」では、通常の授業を行う
- ②「協同学習」で、「できる」子どもを増やす
- ③「形成的テスト」で、子どもの実力を確かめる
- ④「個別学習」で、できない子どもをできるようにする

基本的な時間設定 33

コラム●逆転現象 35

第3章 ①最初の授業

story 3 「最初の授業」は、やや速く進める 38

完全習得学習の公式と5つの要因 40

5つの要因 ①適性／②授業理解力／③授業の質／
④学習機会／⑤学習持続力

2時間分を1時間で進める 45

練習問題は必ずしも最後までやらない 47

発問の規模を小さくする 48

コラム●ICT機器を過信しない 51

第4章 ②協同学習

story 4 協同学習で技能を高め合う 54

協同学習の進め方 56

足場掛けをつくる 59

プリントを準備する 62

コラム●正規分布からJ型分布へ……………65

第5章 ③ 形成的テスト

story 5 形成的テストで「目標未到達」の
子どもを見つけ出す……………68

形成的テストの進め方……………70

素早いフィードバックを与える……………72

行列をつくらない……………74

後半はフォローに徹する……………76

コラム●教師に与えられる形成的テストの効果……………78

第6章 ④ 個別学習

story 6 個別学習で、それぞれの学びを支援する……………80

個別学習の進め方……………82

まだできない子どもへの支援方法……………84

できるようになった子どもへの課題……………87

コラム●テストには経験した問題しか出さない……………91

第7章 完全習得学習のアレンジ

ケース別 完全習得学習アレンジ……………94

1時間だけで確認したい場合……………96

確認としてやっておきたい場合(2時間)……………97

目標未到達の子どもが多い場合(3時間)……………98

確実に完全習得させたい場合(4時間)……………100

子ども同士の学び合いを中心に進めたい場合(4時間)……………102

コラム●完全習得学習とフォロー経験……………104

第8章 Q&A

Q 解くのが速過ぎる子どもがいるのですが、
どうすればいいですか?……………108

Q どうしてもできない子どもがいる場合は、
どうすればいいですか?……………109

Q 解いた問題はチェックしますか?……………111

Q 形成的テストの結果も成績に入れるべきですか?……………112

Q 形成的テストの丸つけで行列ができてしまうのですが……………113

Q グループを組む上での工夫点はありますか?……………114

Q 「最初の授業」で理解できない子どもは、 置いていくのですか？	115
Q 算数の教科でしかできないのではないですか？	116
Q A評価が増えても問題は無いのですか？	118
Q 完全習得学習は、「個別最適な学び」ですか？	119
Q 完全習得学習だけやっていけば学力は高まりますか？	120
.....	
story 7 子どもたちに確かな力を身につけさせよう	122
.....	
おわりに	124
.....	
参考文献	127
.....	